よこみちレポート

YOKOMICHI JUNKO

2025年 春号 No.5

発行　大阪府議会議員
横道淳子 事務所

〒533-0013
大阪市東淀川区豊里6−29−7　クービル7F
(06)6370−1135(代)
(06)6370−2257

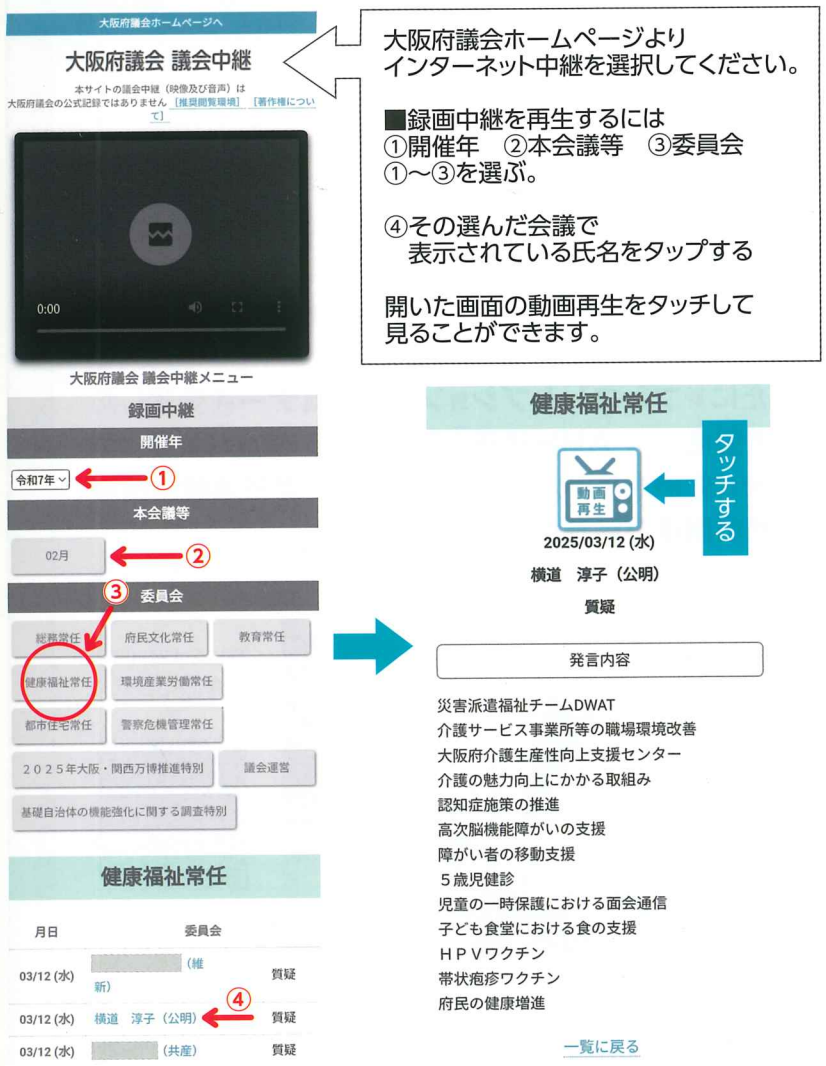


いのち輝く希望の社会をめざして

～よこみち府議　2025年2月定例会 健康福祉常任委員会にて質疑～



▶大阪府議会
インターネット中継はこちら
→http://www.gikai-chukei.jp/



2025年3月12日大阪府議会の健康福祉常任委員会で13項目について質疑を行いました。その中から3項目の要旨を掲載します。

介護サービス事業所等の処遇改善と職場環境改善に補助金支援!

Q 介護職員の人材確保や定着に向けて、介護職員の処遇改善を図るため令和6年11月国の経済対策によって、介護職員の人件費などに充てられる補助金の「介護人材確保・職場環境改善等事業」が事業化されている。
この事業を活用ししっかりと介護事業者に対して支援していくべきと考える。府のこの事業の具体的な取組みについて介護事業者課長に伺う。

A この事業は、国としても介護事業者に対する緊急的な支援という位置づけとしていることから、府においても、円滑かつ速やかに手続ができるよう、申請受付等の事前準備や丁寧な周知を行うなどによって、支援を必要とする介護事業者に少しでも早く補助金がいきわたるよう努めていく。

帯状疱疹ワクチンの定期接種化について

Q 帯状疱疹ワクチンについては、令和7年度から厚生労働省より主に65歳を対象とする定期接種の方針が示されており、わが会派として求めていた接種費用に対する助成がついに実現する。4月から円滑に実施できるよう、府として市町村にどのような支援をしてきたのか、また接種対象者に対して理解を深めるため、今後どのように情報発信を行うべきか、感染症対策課長に伺う。

A 府としても市町村の検討が円滑に進むよう、各市町村の接種費用や準備状況をヒアリングし、その結果を共有するなど支援してきた。なお、全市町村において4月1日から実施できることを確認している。

子ども食堂の支援事業について

Q 子ども食堂における食の支援事業については物価高騰の影響を受けながらも活動を続ける子ども食堂にとって非常に重要であり、今後さらに、利用する子どもの声などを踏まえた事業内容とすべきと考えるが、子育て支援課長に伺う。

A 来年度の事業実施に当たっては、今年度の食品セットのメニューや配付数についてアンケート調査を実施している。この結果を踏まえ、より満足度が高くなるよう、次期事業実施に取り組んでいく。

大阪府議会議員
よこみち 淳子
横　道　じゅんこ



●プロフィール
公明党府本部青年局次長
大阪市生まれ東淀川区育ち
市立東井高野小学校、市立井高野中学校、
府立山田高校、華頂短期大学、桃山学院大学卒
社会福祉士・介護支援専門員
ソーシャルワーカーとして22年勤務

日々の活動を発信しています！是非ご覧ください！

LINE　X　f　@YOKOMICHI_JUNKO

公明党
令和7年 春号

大阪府議会ニュース

Komeito Osaka Prefectural Assembly News

発行／公明党大阪府議会議員団
〒540-8570 大阪市中央区大手前2-1-22
TEL 06-6941-0288 FAX 06-6942-4060

公明党大阪府議会
議員団ホームページ

府民の暮らし守る物価高騰対策を!

災害対策・健康・教育の質向上に次なる一手を

令和7年2月定例会で肥後洋一朗議員（幹事長・寝屋川市選出）が代表質問

お米クーポン事業（第4弾）を実施!
府立学校給食費無償化も

公明府議団が実施した物価高騰対策緊急要望（1月20日）や代表質問（3月3日）での提案が数多く反映されました。財源は国からの物価高騰重点支援交付金（府へ約168億円）です。

- 18歳以下の子ども1人あたり**7,000円相当（5,000円から今回増額）**のお米や食料品を給付する、**子ども食費支援事業（お米クーポン）第4弾**を実施します（6月頃見込）。
- 支援学校・高校定時制など**府立学校の給食費無償化**を延長します。
- 制度を導入する中小企業（2,000社）に最大50万円を交付する**奨学金返還支援制度**を追加実施し、奨学金を返還しながら働く若者を応援します。
- その他、**LPガス利用者**への支援（1契約につき上限3,000円）や**子ども食堂**への支援、**医療機関**や**社会福祉施設等への一時支援金**の追加実施が決定しました。

公明党の国と地方のネットワーク力で府民の暮らしを応援します。



府に緊急要望を提出（1月20日）

災害派遣チーム強化へ
避難所に福祉の視点

能登半島地震からの教訓を踏まえ、避難所生活のQOL（生活の質）向上にむけ、備蓄物資の拡充やマンパワーの強化などを提案。

●府として▶**組立式洋式水洗トイレ**を6年度から3年で2,300基（避難所毎1基）を整備するなど災害用備蓄物資の追加購入や▶避難所で高齢者や障がい者等を支援する「**災害派遣福祉チーム（大阪DWAT）**」の充実強化▶被災地の学校や子どもの学びを支援する「**大阪版災害時学校支援チーム**」の創設に向けたの検討チームの設置を明言しました。



検査や卵子凍結を助成
プレコンセプションケア

将来の妊娠・出産を考えながら、女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うことを指す「プレコンセプションケア」。公明府議団は他党に先駆けて、支援の必要性を訴えてきました。

●府は新たに▶**プレコンセプションケアセミナー**を受講した方のうち希望者に▶**AMH検査**※を助成し▶検査の結果、早発卵巣不全の診断を受けた方のうち希望者に**卵子凍結や保管に対する助成制度の創設**が決定しました。

※卵巣内の卵子の数の目安（卵巣予備能）がわかる血液検査



詳しくは府HPをご参照ください

討論より— 安全安心・SDGsの達成

- 埼玉県八潮市で起きた道路陥没事故を受け、**府の下水道管（約570km）の点検**を効率的かつ確実に実施できるよう、新たな技術を取り入れた手法を提案。
- 府立学校で**空調未設置の特別教室等が約3600室**あり、早期の設置を要請。府は「取り組みを速やかに進めていく」と答弁。
- 大阪・関西万博の開催都市として、**SDGs達成にむけた取り組み強化**を要請。府は万博会場内で「Japan SDGsフォーラム」を開催するなど、SDGs達成への貢献を明言。

大阪・関西万博の情報は
協会HPをご参照ください